

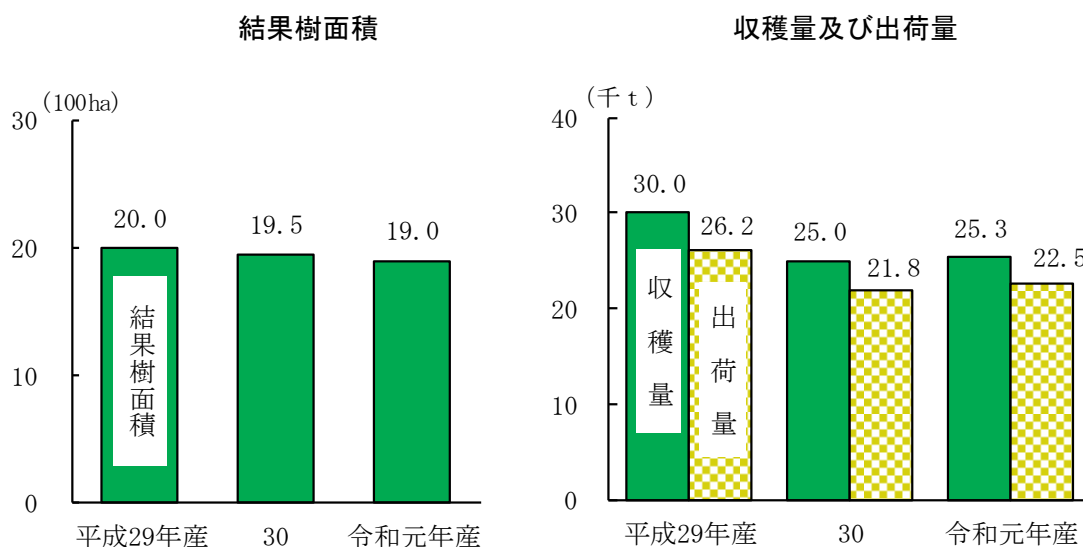
令和元年産キウイフルーツの結果樹面積、収穫量及び出荷量

－ キウイフルーツの収穫量は、前年産に比べ1%増加 －

【調査結果の概要】

- 1 結果樹面積（注）は1,900haで、前年産に比べ50ha（3%）減少した。
- 2 収穫量は2万5,300t、出荷量は2万2,500tで、前年産に比べそれぞれ300t（1%）、700t（3%）増加した。

図1 キウイフルーツの結果樹面積、収穫量及び出荷量（全国）



注：結果樹面積とは、栽培面積のうち生産者が果実を収穫するために結実させた面積をいう。

本資料は、農林水産省ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。

【 https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kazyu/index.html#y3 】

◎ 調査結果の主な利活用

- ・ 食料・農業・農村基本計画における果実の生産努力目標の策定及びその達成に向けた各種対策の推進のための資料
- ・ 農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく果樹共済事業の適正な運営のための資料

◎ 累年データ

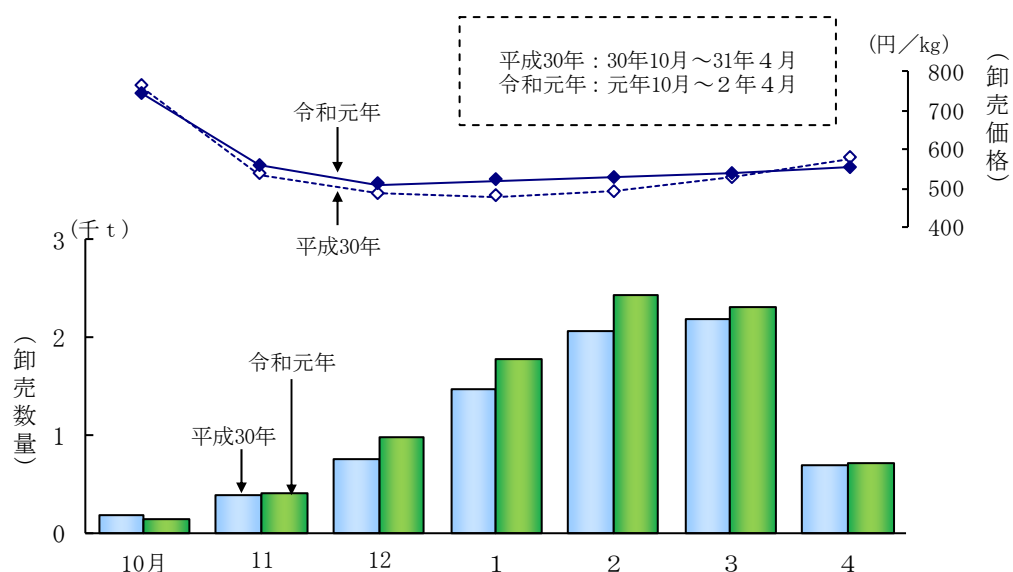
キウイフルーツの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量（全国）

区 分	結果樹面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t
平成 22 年産	2,300	1,150	26,500	22,400
23	2,250	1,160	26,100	21,900
24	2,240	1,330	29,800	25,500
25	2,170	1,400	30,400	26,100
26	2,150	1,470	31,600	27,100
27	2,090	1,330	27,800	23,800
28	2,040	1,250	25,600	21,800
29	2,000	1,500	30,000	26,200
30	1,950	1,280	25,000	21,800
令和 元（概数）	1,900	1,330	25,300	22,500

資料：農林水産省統計部「果樹生産出荷統計」

◎ 関連データ

キウイフルーツの卸売数量及び卸売価格の推移（主要卸売市場）



資料：農林水産省統計部「青果物卸売市場調査（日別調査）」

注：日別調査は、14都市（札幌市、仙台市、東京都、横浜市、金沢市、名古屋市、京都市、大阪市、神戸市、広島市、高松市、北九州市、福岡市、沖縄県）の中央卸売市場に所在する全ての青果物卸売会社を対象とした調査である。

【調査結果】

- 1 結果樹面積は1,900haで、前年産に比べ50ha（3%）減少した。
- 2 10a当たり収量は1,330kgで、前年産に比べ50kg（4%）上回った。
- 3 収穫量は2万5,300t、出荷量は2万2,500tで、前年産に比べそれぞれ300t（1%）、700t（3%）増加した。
- 4 都道府県別の収穫量割合は、愛媛県が24%、福岡県が21%、和歌山県が12%、神奈川県が6%、静岡県が4%となっており、この5県で全国の約7割を占めている。

図2 キウイフルーツの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移（全国）

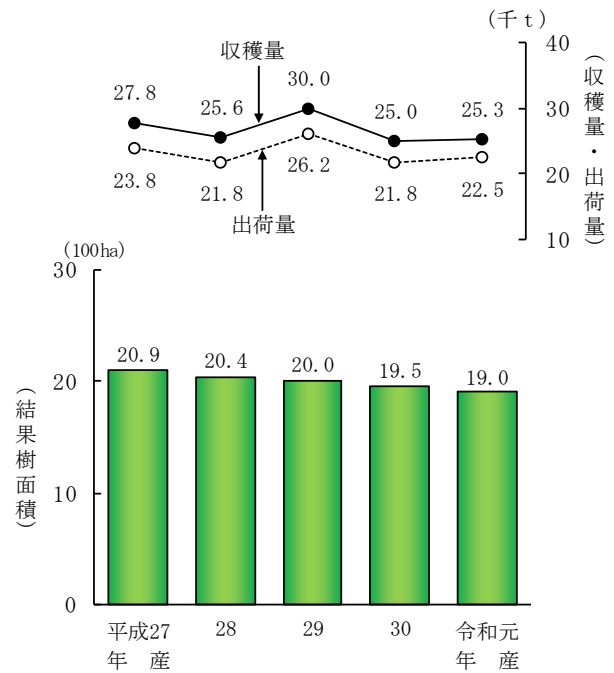


図3 キウイフルーツの都道府県別収穫量

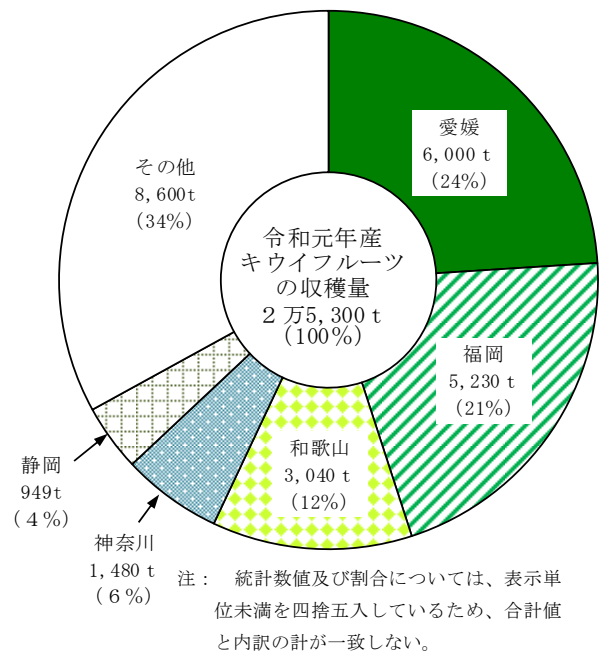


表 令和元年産キウイフルーツの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量（全国）

品目	結果樹面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比			
					結果樹面積	10a当たり収	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
キウイフルーツ	1,900	1,330	25,300	22,500	97	104	101	103

【統計表】

令和元年産キウイフルーツの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

全 国 都 道 府 県	結果樹面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結 果 樹 面 積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
全 国	1,900	1,330	25,300	22,500	97	104	101	103
う ち								
茨 城	31	974	302	201	86	101	87	93
栃 木	59	1,330	785	678	100	92	92	101
群 馬	71	1,160	824	659	97	90	87	90
千 葉	47	821	386	348	96	77	74	74
神 奈 川	132	1,120	1,480	1,420	99	82	81	82
新 潟	30	717	215	161	100	140	140	148
山 梨	55	1,500	825	706	100	91	91	91
静 岡	111	855	949	780	94	76	72	79
愛 知	30	990	297	247	94	85	79	82
和 歌 山	153	1,990	3,040	2,800	101	101	102	102
広 島	39	595	232	167	100	88	88	93
山 口	23	792	182	150	92	123	113	123
徳 島	26	1,450	377	319	87	108	94	94
香 川	56	952	533	442	102	100	102	102
愛 媛	351	1,710	6,000	5,660	96	120	115	115
福 岡	263	1,990	5,230	4,940	99	116	114	115
佐 賀	46	1,520	699	637	92	109	101	100
大 分	46	1,290	593	524	105	94	98	98

注： 調査は、平成28年（全国調査年）の全国の栽培面積のおおむね80%を占めるまでの上位都道府県及び果樹共済事業を実施する都道府県を調査の範囲（主産県）として実施しており、全国値については主産県の結果を基に推計した。

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の作況調査の果樹調査として実施したものであり、果樹の結果樹面積、収穫量、出荷量等の現状とその動向を明らかにし、食料・農業・農村基本計画における果実の生産努力目標の策定及びその達成に向けた各種対策の推進、農業保険法に基づく果樹共済事業の適正な運営等のための資料を整備することを目的としている。

2 調査の対象

(1) 調査の範囲

全ての都道府県を調査対象とする全国調査を6年ごとに実施しており（直近では平成26年産）、全国調査年以外の年に当たる本年産にあつては、調査対象品目ごとに、平成28年面積調査結果（全国）に基づき、全国の栽培面積（平成28年）のおおむね80%を占めるまでの上位都道府県及び調査対象品目に係る果樹共済事業を実施する都道府県を調査の範囲（主産県）としている。

(2) 調査対象者の選定

ア 関係団体調査（全数調査）

主産県において、調査対象品目を取り扱っている全ての農協等の関係団体とした。

イ 標本経営体調査（標本調査）

都道府県ごとの収穫量に占める関係団体の取扱数量の割合が8割に満たない都道府県については、2015年農林業センサスにおいて、調査対象品目を販売目的で栽培し、関係団体以外に出荷した農林業経営体から品目別作付面積の規模に比例した確率比例抽出法により抽出をした。

標本の大きさ（標本経営体数）については、全国の目標精度（2～3%）が確保されるよう、調査対象品目の全国収穫量に占める都道府県ごとのシェアを考慮して設定した10a当たり収量に関する都道府県の目標精度（おおむね5%程度）及び団体シェアの割合等に基づき、必要な標本経営体数を算出した。

(3) 調査対象者数

	関係団体調査			標本経営体調査				
	団体数 ①	有効回収数 ②	有効回収率 ③=②/①	母集団の大きさ ④	標本の大きさ ⑤	抽出率 ⑥=⑤/④	有効回収数 ⑦	有効回収率 ⑧=⑦/⑤
	団体	団体	%	経営体	経営体	%	経営体	%
キウイフルーツ	101	99	98.0	3,027	568	18.8	393	69.2

注：「有効回収数」とは、集計に用いた標本経営体及び関係団体の数であり、回収はされたが、当年産において作付けがなかった標本経営体等は含まれていない。

3 調査事項

(1) 関係団体調査

調査対象品目の結果樹面積及び出荷量

(2) 標本経営体調査

調査対象品目の結果樹面積、出荷量及び自家用、無償の贈与の量

4 調査期日

収穫・出荷終了時

なお、本調査の年産区分の主たる収穫期間は、次のとおりである。

品目	主たる収穫期間
キウイフルーツ	令和元年10月～12月

5 調査方法

本調査は、関係団体に対する往復郵送調査又はオンライン調査及び標本経営体に対する往復

郵送調査により行った。

6 集計方法

(1) 都道府県値

ア 結果樹面積の集計は、関係団体調査結果を基に行っており、職員又は統計調査員による巡回・見積り及び職員による情報収集により補完している。

イ 収穫量の集計は、関係団体調査及び標本経営体調査結果から得られた10a当たり収量に結果樹面積を乗じて算出し、必要に応じて職員又は統計調査員による巡回及び職員による情報収集の結果により補完している。

ウ 出荷量の集計は、関係団体調査結果から得られた出荷量及び標本経営体調査結果から得られた10a当たり出荷量等を基に算出している。

(2) 全国値

本年産調査は主産県調査年に当たることから、全国調査を行った平成26年産の調査結果に基づき、次により推計した。

ア 結果樹面積

$$\text{全国値} = \text{結果樹面積の主産県値} + \frac{\text{結果樹面積の主産県値}}{\text{栽培面積の主産県値}} \times (\text{栽培面積の全国値} - \text{栽培面積の主産県値})$$

(注) 「栽培面積」は、当該年の「果樹及び茶栽培面積(7月15日現在)」(農林水産省統計部)による。

イ 収穫量及び出荷量

$$\text{全国値} = \frac{\text{平成26年産の全国値} \times \text{当年産の主産県値}}{\text{平成26年産の主産県値}}$$

(注) 全国調査を行った平成26年産の調査結果による。

7 実績精度

本調査の10a当たり収量に係る調査結果(主産県計)の実績精度を標準誤差率(標準誤差の推定値÷推定値×100)により示すと、次のとおりである。

区 分	標準誤差率(%)
キウイフルーツ	1.9

8 用語の解説

- (1) 栽培面積とは、調査日現在において、複数年にわたって収穫を行うことができる永年性作物の栽培に利用している面積をいう。
- (2) 結果樹面積とは、栽培面積のうち、生産者が本年産の果実を収穫するために結実させた面積をいう。
- (3) 収穫量とは、収穫したもののうち、生食用又は加工用として流通する基準を満たすものの重量をいう。
- (4) 出荷量とは、収穫量のうち、生食用、加工用として販売した量をいい、生産者が自家消費した量及び種子用、飼料用として販売したものは含めない。

9 利用上の注意

- (1) 統計数値については、次の方法によって四捨五入しており、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

原 数		5 桁 (1 万)	4 桁 (1,000)	3 桁以下 (100)
四捨五入する桁（下から）		2 桁	1 桁	四捨五入しない
例	四捨五入する前（原数）	12,345	1,234	123
	四捨五入した数値（統計数値）	12,300	1,230	123

(2) この統計表に掲載された数値を他に転載する場合は、「令和元年産キウイフルーツの結果樹面積、収穫量及び出荷量」（農林水産省）による旨を記載してください。

10 その他

この資料の数値は、概数値である。確定した詳細な数値は、ホームページに掲載（令和2年12月予定）するとともに、その後刊行する「令和元年産果樹生産出荷統計」に掲載する。
なお、公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせする。

【ホームページ掲載案内】

- 各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報で御覧いただけます。

【 <https://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】

この結果は、分野別分類「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類「果樹」の「作況調査（果樹）」で御覧いただけます。

【 https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kazyu/index.html#y3 】

【関連リンク】

果樹関係ページ: 農林水産省 > 組織別から探す > 生産局 > 園芸作物(野菜・果樹・花き) > 果樹のページ

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/fruits/>

果樹農業振興基本方針: 農林水産省 > 組織別から探す > 生産局 > 園芸作物(野菜・果樹・花き) > 果樹のページ > 果樹施策の概要

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/fruits/attach/pdf/index-96.pdf>

お問合せ先

◎本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房統計部
生産流通消費統計課 園芸統計班
電話：（代表）03-3502-8111 内線 3680
（直通）03-6744-2044
FAX： 03-5511-8771

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部
統計企画管理官 統計広報推進班
電話：（代表）03-3502-8111 内線 3589
（直通）03-6744-2037
FAX： 03-3501-9644



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)
<https://www.e-stat.go.jp/>